

令和2年2月20日

研究科長 殿

審査委員

主査 安野 富美子

副査 坂井 友実

副査 谷口 博志



学位論文審査報告書

学位申請者	保健医療学 研究科 保健医療学 専攻 平成29年度入学 氏名 向ありさ	学籍番号	5217002
申請学位	博士(鍼灸学)		
学位論文題目	企業就労者の身体的・精神的疲労感に対する鍼灸治療と円皮鍼治療の比較 —ランダム化比較試験—		
成績	合格		
審査期日	令和2年2月8日 ~2月18日		

- 注 1 論文審査の成績は、合格又は不合格とする。  
2 学位論文審査要旨を添付すること。

学位論文審査要旨

審査委員

主査 安野 富美子

副査 坂井 友実

副査 谷口 博志



学位論文提出者

保健医療学 研究科 保健医療学 専攻  
平成29年度入学  
氏名 向ありさ

学位論文題目 企業就労者の身体的・精神的疲労感に対する鍼灸治療と円皮鍼治療の比較  
—ランダム化比較試験—

学位論文審査の要旨

本論文は、身体的・精神的疲労感を自覚する就労者に対して鍼灸治療と円皮鍼治療を介入し、疲労感への鍼灸治療の効果を検討することを目的に行われた臨床研究である。

本研究の方法であるが、研究デザインはランダム化比較試験を用いており、ブロックランダム化により鍼灸(治療)群と円皮鍼(治療)群の2群に割付けているものである。対象は、都市部の就労者で、組入れ基準は、20歳以上45歳未満、身体的・精神的疲労感を自覚する者とし、除外基準は、疲労に関わる疾患や症状、医学的異常、既往歴を有する者などである。介入の期間は、週2回4週間で、治療方法は、鍼灸群、円皮鍼群とも疲労症状に対する全例共通の基本治療(使用経穴:心兪、腎兪、合谷、関元、内関、足三里、太溪)に加え、個々の身体所見に応じた個別治療を行っている。主要評価項目は身体的・精神的疲労感の4週間のVisual Analogue Scale(VAS)の変化としており、副次的評価項目は身体的・精神的疲労感(VAS)の群内比較と介入前後の変化、身体症状のVAS、Health and Work Performance Questionnaire、GHQ精神健康調査票12項目版、MOS 36-Item Short-Form Health Survey スタンダード版、唾液アミラーゼ値とした。

その結果、鍼灸群13例、円皮鍼群13例が解析対象となり、主要評価項目の2群間の身体的・精神的疲労感のVASに有意差はみられず、副次的評価項目の介入前後の比較では、身体的疲労感(VAS値)が2群とも有意な減少がみられ、鍼灸群でより大きな効果量を示した。各群の群内比較では円皮鍼群の精神的疲労感(VAS)が8回目に有意に減少した。鍼灸治療と円皮鍼治療の効果の差はなく、鍼灸治療では直後効果、円皮鍼治療では経時的な効果とそれぞれの治療法の有用性が示された。

以上より、本論文は、身体的・精神的疲労感を有する都市部の企業就労者に対して、鍼灸治療と円皮鍼治療の効果ランダム化比較試験により明らかにした新規性のある、社会的に及ぼすインパクトも高い研究である。さらに鍼灸治療と円皮鍼治療の効果の違いについても明らかにして、労働者にも普及しやすく、新たな選択肢を提示できる研究論文であり、臨床鍼灸学に新たな展開を示すものである。よって本論文は、博士(鍼灸学)の学位に値するものと認める。